



3月の学校行事

3/6
(金)

令和2年度 入学許可候補者発表

3月6日(金)午前9時に、職員玄関横にて、令和2年度入学許可候補者を発表しました。



3/7
(土)

令和元年度 第43回卒業証書授与式

3月7日(土)に本校体育館において、令和元年度第43回卒業証書授与式を挙行了しました。今年度の卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から出席者を卒業生、保護者1名、生徒会長1名(在校生代表)及び教職員としました。次第内容も短縮して実施しました。

保護者の皆様と職員が見守る中、348名の卒業生が巣立っていきました。

三木校長が式辞で述べた一部を紹介します。

早春の佳き日、御来賓並びに保護者の皆様方の御臨席を賜り、ここに千葉県立千葉北高等学校第四十三回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより出席かなわぬ在校生、そして私ども職員にとりまして大きな慶びとするところであります。皆様に厚く御礼申し上げます。特に本年は社会的混乱が続く中、御臨席いただいた皆様方にはあらためて深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは令和初の卒業生として本校の歴史に名を刻む三百四十八名です。まさに輝かしい門出と言えるでしょう。

(略)

さて、卒業生の皆さん、今、話したいことはたくさんありますが、ここでは一つだけにします。

マイクロソフト社のビルゲイツ氏の言葉に「自分のことを、この世の誰とも比べてはいけない」という言葉があります。素晴らしい言葉だと思えます。もちろん世の中のさまざまなデータを比較して事実を知ることが重要です。また、スポーツや各種競技で他者と競い正々堂々と戦うことは違うものです。

では、ビルゲイツ氏の言う「誰かと自分を比べること」は私たちに何をもたらすのでしょうか。それは劣等感や嫉妬、変な優越感や差別、偏見を生み出します。だからこそ警告の言葉として大切にしたいものです。ただし、私は一人だけ比較してよい人があると思っています。すぐに分かる人もいるかもしれませんが。ビルゲイツ氏ならそれは例外と言うのでしょうか。その比べて良い人とは、自分自身です。私から皆さんに贈る最後の言葉です。

「あしたの自分のためにきのうの自分を超える」

昨日よりほんの少しでも成長したら、がんばれたら、よいのです。それは、他者への親切な行動、家族への思いやり、自分の勉強の一つの知識の獲得、スポーツの技術等いろいろあります。その中の一つでもできれば、あなたは昨日の自分を超えています。それを積み重ねる時、とても大きな成長へつながり、「今をよく生きること」で明日の自分への準備ができます。その準備はその先の自分の夢、目標の実現へつながっていきます。明日の自分に丁寧にバトンを渡してください。誰かに勝った負けたではなく、昨日の自分より人間的に成長したと思える日々を過ごせること、それは自己肯定感につながります。明日の自分から見れば、今日の自分はまだまだだ。これは謙虚さと努力につながります。昨日の自分を超えてください。皆さんならきっとできます。心から応援しています。

(後略)



式辞を述べる
三木校長



卒業式の様子

